

ちょこつとマーケット

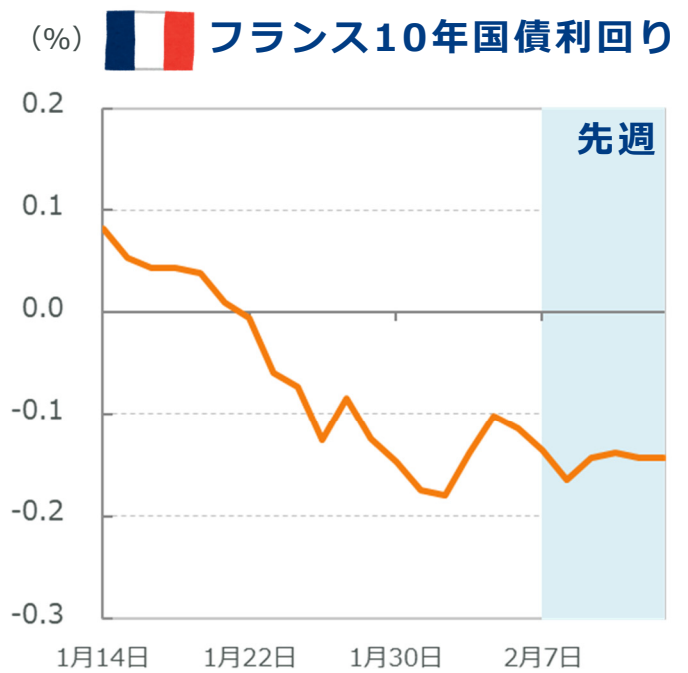
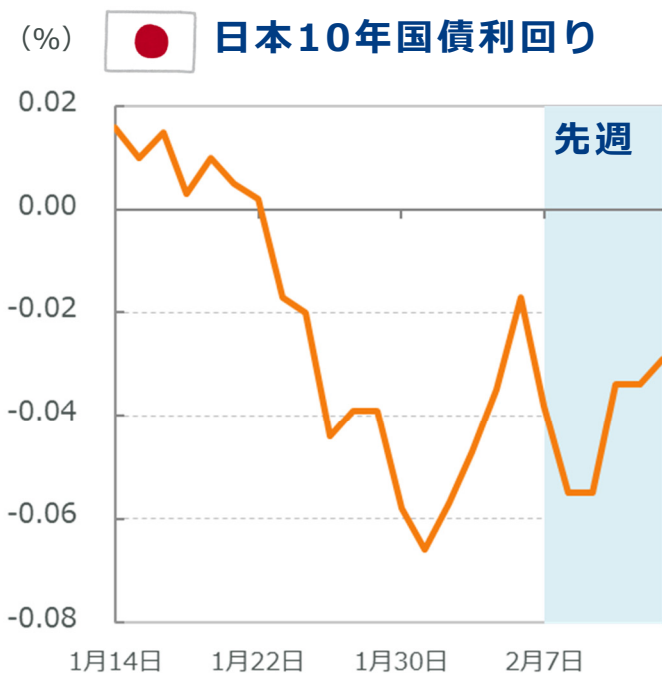
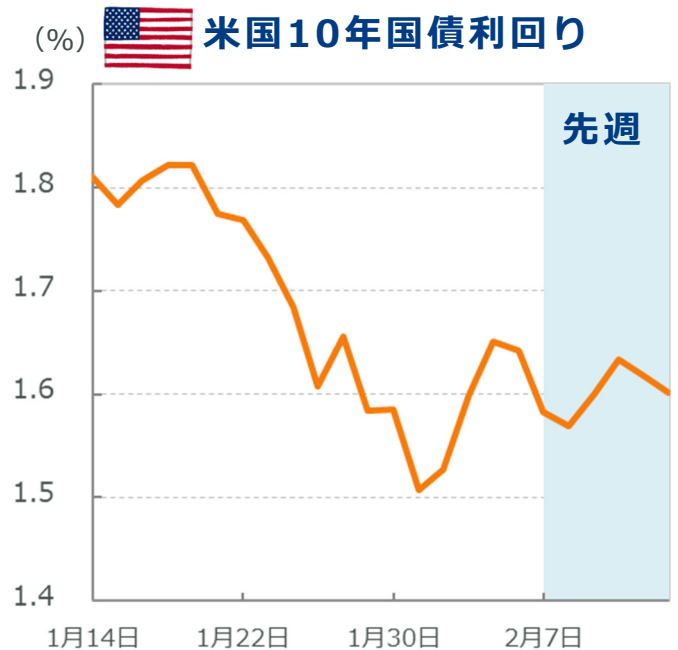
(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2020年2月10日～2020年2月14日】

日米国債利回りは上昇

- ◆米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長が11日、「当面は現行の金融政策が適切」と発言し米国の利下げ観測が後退しました。これを受けて米長期金利が上昇、日本の長期金利も上昇しました。
- ◆中国での新型コロナウイルスの感染拡大ペースが落ち着きつつあり、米中株式が堅調に推移したことも国債の売り材料となりました。



(注) データは2020年1月14日から2020年2月14日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちよこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2020年2月10日～2020年2月14日】

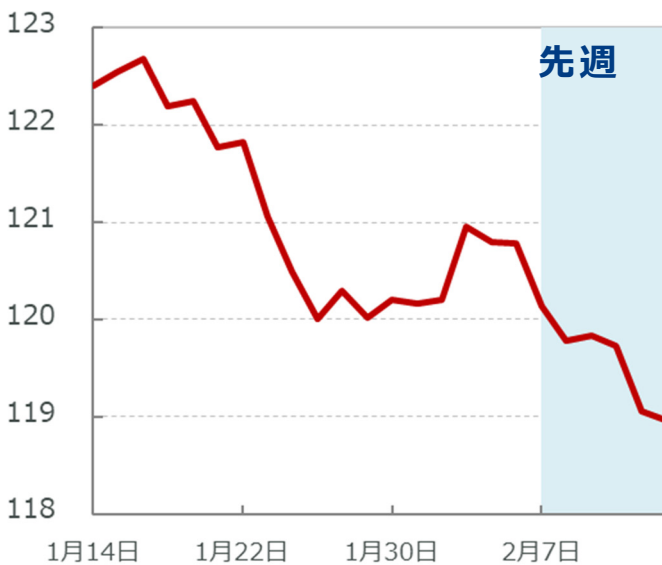
円はまちまちの動き

- ◆米ドルは堅調な米国株式を背景に週明け対円で上昇しましたが、軟調な米小売統計などを受けて伸び悩む場面もあり、米ドルの週間の動きはほぼ横ばいでした。
- ◆低調なユーロ圏経済指標やメルケル独首相の後継を巡る政情不安などを背景に円は対ユーロで上昇した一方で、堅調な中国株式がオセアニア通貨の追い風となり円は対豪ドルで下落しました。

 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2020年1月14日から2020年2月14日 (日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。